

2024年3月6日

株式会社 KADOKAWA

KADOKAWA、韓国 BY4M 社と韓国にて合併会社を設立

**KADOKAWA**

— S T U D I O —

株式会社 KADOKAWA（本社：東京都千代田区、取締役 代表執行役社長 CEO：夏野剛、以下 KADOKAWA）は、3月5日、韓国における総合エンターテインメント企業である BY4M STUDIO（読み：バイフォーエム・スタジオ、本社：韓国・ソウル、CEO：ユ・グyson、以下 BY4M）との間で、文芸・ライトノベル・コミックなど日本のコンテンツを翻訳出版する合併会社発足のため、BY4M の出版事業部門を分割して新会社を設立し、KADOKAWA が有償増資により当該会社株式の 55%を取得することに合意しました。

KADOKAWA グループは、多彩なポートフォリオから成る IP（Intellectual Property）を安定的に創出し、世界に広く展開することを中核とした「グローバル・メディアミックス with Technology」の推進を基本戦略として掲げ、これまで北米・中華圏・東南アジア圏を中心に海外拠点の事業基盤強化・拡大を進めてまいりました。韓国市場においては、KADOKAWA グループの現地法人は現在まで設立されていませんでしたが、当社の韓国語における海外出版ライセンスの運用実績は、近年で全言語中英語に次いで 2 位の割合を占める重要な市場となっています。

BY4M グループは、2017 年に設立された若い企業グループながら、創業時より独自に保有していた SNS チャンネルなどの媒体力を軸としたデジタル広告マーケティングの実行力とベンチャー企業ならではの革新性を武器に、エンターテインメントおよびコンテンツ産業全般の消費者動向の知見を基盤とした総合エンターテインメント企業へと進化しています。2019 年に出版事業を立ち上げ、KADOKAWA 作品である小説『今夜、世界からこの恋が消えても（通称：セカコイ）』や『西由比ヶ浜駅の神様』の韓国語版書籍を刊行。2021 年、2022 年連続で韓国内の外国語翻訳小説の中でトップ作品として大ヒットさせるなど、短期間で多くの実績を作ってきました。また、2022 年には映画事業に進出し、映画版『今夜、世界からこの恋が消えても』の韓国配給とマーケティングを通じて、韓国内の歴代日本実写映画最多観客数を更新しました。映画事業発足 2 年目に 2023 年韓国映画最大のヒット作である『犯罪都市 3』、『ソウルの春』などの作品投資に成功するなど、総合的なコンテンツメディアミックス展開が実現できる企業グループとして成長しています。

韓国・ソウルに新たに設立する合弁会社は、KADOKAWA が保有する多彩な IP を BY4M が培ってきた韓国でのデジタルマーケティング力およびメディアミックスの影響力を生かすことで、韓国市場で更に拡大展開することを目指します。そしてその IP は KADOKAWA のものに限らず、今まで BY4M の出版事業が幅広く展開を行ってきたように、他の出版社を含む日本の出版コンテンツ全体を対象と考えます。KADOKAWA の海外現地法人としての収益化だけでなく、市場全体を活性化させることにより日本の出版コンテンツ全体の韓国市場における収益拡大にも貢献してまいります。また、韓国発の IP の発掘や日本・韓国それぞれを起点とした越境メディアミックス展開の拡大など、新規領域への参入にも取り組んでいく予定です。

■合弁新会社の概要

名称	未定
所在地	韓国・ソウル（住所未定）
設立	2024年5月以降（予定）
事業内容	韓国語の文芸・コミック・ライトノベルの出版および関連メディアミックス事業全般
株主構成	KADOKAWA 55% BY4M STUDIO 45%

■今後の見通し

本件が当社の連結業績に与える影響は軽微です。

■BY4M STUDIO について

月間約 2500 万 UU、年間数百億の露出トラフィックを発生させる自社 SNS チャンネルを中心としたデジタルメディア全般を活用し、エンターテインメント、出版、映像制作および広報、音楽制作、飲食、健康食品、アパレルなどの幅広い事業領域を展開する、韓国における総合エンターテインメント企業です。特に 10～30 代の若年層向けの展開に実績があります。

<http://www.by4mstudio.com/>

■株式会社 KADOKAWA について

出版、映像、ゲーム、Web サービス、教育、ところざわサクラタウンを中心とした IP 体験施設の運営など、幅広い事業を展開する総合エンターテインメント企業です。優れた IP (Intellectual Property) を安定的に創出し、さまざまな形で世界に届ける「グローバル・メディアミックス」戦略を、テクノロジーの活用により実践しております。

<https://group.kadokawa.co.jp/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 KADOKAWA IR・広報室

E-mail : pr-dept@kadokawa.jp

<注>本案件の韓国における韓国語での情報公開につきましては、BY4M 社よりお知らせいたします。